

〔科目名〕 国際経済論	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目 基幹科目																					
〔担当者〕 工藤 恭嗣	〔オフィス・アワー〕 時間:初回の講義で提示する。 場所:初回の講義で提示する。	〔授業の方法〕 講義																					
〔科目の概要〕 本講義では、国際経済論のうち国際貿易論を中心とする理論・政策・制度を体系的に学びます。「なぜ貿易は行われるのか？」をテーマに、比較優位や規模の経済、企業内貿易など現代的な貿易パターンを説明する主要モデルを取り上げ、国際分業がどのように形成されるのかを理解した上で、関税・非関税障壁、補助金、貿易協定といった政策手段が国内外の経済厚生に与える影響を分析し、保護主義や経済安全保障の議論のほか、WTO 体制や地域貿易協定などの国際ルール形成の意義と限界を検討します。さらに、グローバル・サプライチェーンの再編、デジタル貿易、グローバル化と経済格差、環境・労働をめぐる通商政策など、国際経済の新たな課題にも触れます。																							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <ul style="list-style-type: none"> 国際経済論は国際貿易論と国際金融論に大別されますが、本講義では主として国際貿易論を扱います。ミクロ経済学・マクロ経済学で学んだ内容を基に、経済のグローバル化やそこから生じる国際経済紛争を理解する基礎を養うこととなります。 人口減少に伴い、東北地方のみならず日本全体の経済規模が縮小傾向にある中、農業や情報通信業においても国際的な展開が注目されてきました(例として、農産物、映画、アニメなどの輸出)。海外との関わりが一層深まることが予想される中、国境を越える経済活動の仕組みを理解することの重要性が増しています。 貿易政策の理論分析にはゲーム論、データ分析には計量経済学が関連します。 																							
〔科目の到達目標〕 私たちが住んでいる今日の世界は相互依存関係にある国々によって構成され、国際経済に関する諸問題は、日々マスコミのニュースにもなっています。これらの諸事実は、私たちの日常生活までも、海外から多大なる影響を受けていることを示しています。本講義は、日々の私たちの生活への影響を、身近な事例として考えながら、皆さんが日本を取り巻く国際経済の諸問題を統一的に理解・分析できるようになることを目的とします。																							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">学部</th> <th colspan="3">学科</th> </tr> <tr> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> <th>DP4</th> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○			○		○	○
学部				学科																			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																	
○			○		○	○																	
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 今年度から担当します																							
〔教科書〕 伊藤 万里・田中 鮎夢『現実から学ぶ国際経済学』有斐閣、2023 年																							
〔指定図書〕 清田 耕造・神事 直人『実証から学ぶ国際経済』有斐閣、2017 年																							
〔参考書〕 古沢 泰治『国際経済学入門』新世社、2022 年 武智 一貴・東田 啓作・黒田 知宏『トピックで読み解く 国際貿易論』ミネルヴァ書房、2025 年 経済産業省『通商白書』(各年、 https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/index_tuhaku.html)																							

<p>〔前提科目〕</p> <p>次の2つの条件を満たしていることが望ましい(注:未履修でも本科目を履修できます)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミクロ経済学及びマクロ経済学を履修済みであること ・経済数学、ゲーム論、計量経済学のうち2科目以上を履修済みであること 	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義への参加(受動的な出席ではなく、内容への積極的な関与を指します。出席の有無は加点の対象としません。)、小テスト、定期試験の結果等に基づき、成績を評価します(合計点に基づく最終評価については、学生便覧に準拠します。) ・出席は取りませんが、講義中の活動状況等から講義への不参加が5回確認された場合は、自動的に不合格となります。 	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>(取り組む姿勢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前提科目のミクロ経済学及びマクロ経済学に触れながら講義を進めることで科目間の関連性を意識させ、学修の定着を図ります。 <p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各講義後2日以内に必ず復習してください。 	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>公正取引委員会、コンサルティング業</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンス: 国際経済学とは何か</p> <p>内 容: 授業の目的・進め方・評価方法を説明し、国際経済学が現実の政策・企業行動とどう結びつくかを概観する。</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 序章</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): グローバル化</p> <p>内 容: 貿易・産業構造・地域別動向などの基礎データを読み解き、国際経済の現状を把握する。</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第1章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 保護主義</p> <p>内 容: グローバル化の進展と逆流、保護主義の背景、経済安全保障をめぐる近年の動き</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第2章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 企業活動の国際的展開</p> <p>内 容: 多国籍企業、サプライチェーン、海外直接投資の役割、貿易と企業行動の関係</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第3章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): なぜ貿易は行われるのか (1) 技術と貿易</p> <p>内 容: 比較優位の基礎、技術格差と貿易パターン、特殊要素と所得分布</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第4章、清田・神事 第1章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): なぜ貿易は行われるのか (2) 生産要素賦存と貿易</p> <p>内 容: ストルパー=サミュエルソン定理、要素価格均等化定理等</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第5章、清田・神事 第1章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): なぜ貿易は行われるのか (3) 規模の経済性と貿易</p> <p>内 容: 規模の経済性、製品差別化、企業レベルの競争と貿易</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第6章、清田・神事 第2章</p>

第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):なぜ貿易は行われるのか(4) 企業の異質性と貿易</p> <p>内 容:国レベルの生産性ではなく企業レベルの生産性に基づいた貿易の分析、輸出企業の特徴、海外直接投資及びアウトソーシング</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第7章、清田・神事 第3章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):小テストと後半部の導入</p> <p>内 容:貿易を説明するモデルに関する小テストを実施することで履修者の理解度を確認し、後半部の内容について説明する</p> <p>教科書 小テスト(教科書 第4章～第7章)と講義後半部(貿易政策と貿易問題)の導入</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):貿易政策(1) 基礎編</p> <p>内 容:関税・非関税障壁、小国モデル、厚生分析の基礎</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第8章、清田・神事 第5章</p>
第11～12回	<p>テーマ(何を学ぶか):貿易政策(2) 応用編</p> <p>内 容:大国モデル、戦略的貿易政策、不完全競争下の政策効果</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第9章、清田・神事 第6章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):地域統合・WTO・FTA</p> <p>内 容:多国間・地域的枠組みの制度的特徴、ルール形成の意義と限界</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第10章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):グローバル化と格差</p> <p>内 容:貿易と所得分配、国内格差及び政治的反発</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第11章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):まとめ</p> <p>内 容:貿易政策、貿易を巡る諸問題のまとめ</p> <p>教科書・指定図書 伊藤・田中 第1～11章</p>
試験	<p>定期試験期間に期末試験を実施します。</p>